

被爆地「抗議の声 世界に」

ウクライナ侵攻 広島など各地でデモ



長崎と同時開催

ロシアのウクライナ侵攻に抗議する集会在26日、広島、長崎両市で同時に開かれた。両被爆地で平和運動に取り組む若い世代の有志が呼びかけた。

集会は広島市中区の前原ドーム前と長崎市の爆心地公園であった。「長崎を最後の被爆地に」との願いを込



爆心地公園で開かれた抗議集会。長崎市、藤原正真撮影。原爆ドーム前で、プラカードを掲げる市民ら。広島市中区、上田潤撮影。ウクライナ侵攻に抗議するロシア人とウクライナ人ら。京都市東山区、小川智撮影。

め、長崎に原爆が投下された午前11時2分に合わせ、広島約60人と長崎約40人が「ノー・ウォー」「フー・モア ヒロシマ ノーモア ナガサキ」などと英語、ロシア語で書かれたプラカードを掲げ、黙陣した。

広島市でカフェを営む安彦恵里香さん(48)は、ロシアのプーチン大統領が核兵器保有を背景に威嚇するよ

うな発言をしたことに触れ、「被爆地の抗議の声を世界に届けたい」と訴えた。広島市西区の保育士、関田恭子さん(41)は「戦争に巻き込まれるのは子どもたちを含む民間人。胸が痛い」と話した。

長崎では元高校生平和大使の林田光弘さん(29)がSNSで呼びかけた。チェルノブイリ原発事故による放射線の健康影響の共同研究に携わる長崎大助教の高橋純平さん(54)は「長崎市には青と黄色のウクライナ国旗の色に塗ったマスクをつけて参加した。25日夕、中西部シトミル州に住む友人とビデオ通話中に爆撃音が聞こえ、友人は通話を中断して防空壕に避難したという。「ロシアにも友人がおり、こうして平和



が脅かされているのは非常に悲しい」と話した。被爆者の森口貴さん(85)は「まだ核兵器で国の安全を守るという発想をしていることが許せない」と話した。

京都で留学生ら

京都市東山区の円山公園で26日、ロシアのウクライナ侵攻に抗議する集会有った。関西在住のウクライナ人やロシア人ら約100人がウクライナの国歌を歌い、「ストップ・ザ・ウォー」と訴えた。

この春、京都大学院博士課程に入るロシア人のタチアナ・クノロズさん(26)が呼びかけた。「どんな戦争も賛成できない」

神戸市須磨区から参加したウクライナ人のテチアナ・コルチュクさん(28)は両親が首都キエフに住む。「一人でいると泣いてしまうのでここに来た。ウクライナの状況を多くの人に知ってほしい」と話した。

(三宅梨紗子、榎本瑞希、大貫聡子)